

ボイラー燃料費を2割削減

最近の重油高により、さらに注目が集まっている松本日光舎が提案する燃料添加剤「ECOMAX（エコマックス）」。「ECOMAXは、重油・灯油に対して適量を投入するだけで、ボイラーの燃焼効率を上げるもの。重油などを大量に消費するリネンサプライ工場、旅館・ホテル、温浴施設での採用事例が多い。今回、4年前からECOMAXを継続利用する岐阜県高山市の奥飛騨温泉郷「葉師のゆ本陣」（52室）の導入効果を改めて掲載し、その効果を紹介する。

ホテルでも展示

同館は、自家源泉「美肌の湯」と囲炉裏で食べ、雪深く寒い地域だけに暖る飛騨牛、さらに温泉ソリエ・温泉観光士の資格を持つ石田清造社長が、毎日行う「温泉かたりべ」も人気の温泉旅館。温泉

を導入。こうした商品は過去にもいくつか試したが目に見える効果はなく「だまされたつもりで使ってみた」と石田社長。

ところが、効果は初月から出て、前年12月の使用量4万3700㍓が、3万6000㍓へと減少。その後も毎月、着実に減少したという。年間で見ると、13年1〜12月の使用量は28万3750㍓。これに対し、14年の使用量は22万7200㍓で、灯油削減量は5万6550㍓、実に19.9%も使用量が減った。

高騰する灯油代に頭を悩ませていたが、2013年12月にECOMAX

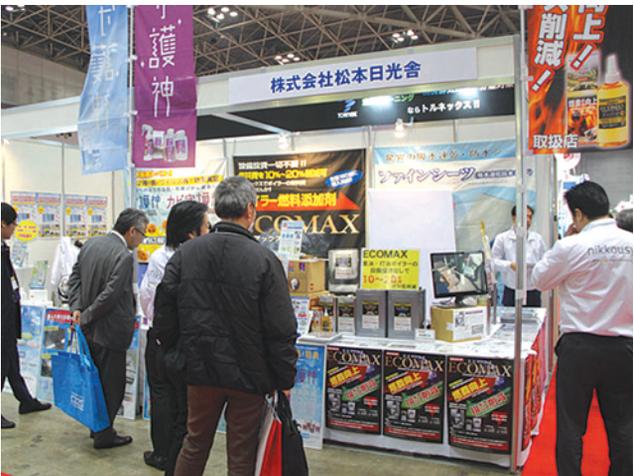
約20%の省エネ効果を生金額ベースで見ると、13年が年間約2700万円に対し、添加後の14年は2100万円。コストは

石田社長は、「例えば、5000万円の純利益を生んだことは、売り上げ5千万円分のお客さまを泊めたのと同じ。売り上げアップでこれだけの利益を出すのは簡単なことではなく、ECOMAXによるメリットは、かなり大きいと評価している。問い合わせは、松本日光舎エコマックス事業部（石川県金沢市横川7-2）☎076（241）6155まで。

2月20〜23日に東京ビッグサイトで開かれる「2018国際ホテル・レストラン・ショー」に出展し、エコマックスの展示、説明も行う（ブース番号4-P17）。

燃料添加剤 ECOMAX

松本日光舎



前回のホテルでのブース展開の様子



ECOMAXの各種製品

葉師のゆ本陣

